



鬼の持つ木箱にたいまつを振り下ろす氏子ら(まいそう祭り)

豊作や無病息災を祈願 各地で伝統行事行われる

新春恒例の伝統行事が市内各地で行われました。

1月3日には、区内に大男がいるように見せかけ悪霊を払い除けるといわれている「安井の大ぞうり」が同区でありました。区民20人が、わらを使って長さ1.5㍍、幅1㍍の巨大なぞうりを作り上げ、後日、村の入り口となる区境に奉納しました。

9日には、豊作などを祈願する「別宮のお綱うち」が同区で行われました。早朝から長さ20㍍、直径30㍍の大綱をわらで編み込み、完成した大綱を村の上組と下組で引き合い、その年の農作物のできを占いました。その後、区の高台にある大ケヤキにかけ、豊作を祈りました。

14日には、「まいそう祭り」が大屋町宮本の御井神社で奉納されました。これは、燃えさかるたいまつで鬼面姿に木鉾を持つ鬼をたたき、その年の無病息災を祈願するものです。木鉾と木箱を持った鬼が現れると、氏子らが「マーイソーナイ」とはやし立て、御神火から点火したたいまつを鬼の持つ木箱に激しく振り下ろしました。



大綱を編み込む区民ら(お綱うち)

人権問題文芸作品「のじぎく 文芸賞」で最優秀賞を受賞

のじぎく文芸賞は、人権意識の高揚をめざして、広く県民のみなさんから人権問題に関する作品(小説・随想・詩・創作童話)を募集しているもので、一人でも多くの方に人権問題について理解を深めていただくために毎年、兵庫県が実施しています。

平成17年度の同賞創作童話部門で、おばあちゃん子どもたちがお手玉を通してふれあう様子が



水田さんが描かれた
童話の一場面を表した水彩画

描かれた大屋町糸原の水田美和子さんの作品「お手玉の木」が最優秀賞を受賞しました。

受賞おめでとうございます。

青少年読書感想文コンクール 兵庫大会で県知事賞を受賞

読書での感動を文章に表現することで、豊かな人間性や考える力を育むことなどを目的に行われている青少年読書感想文コンクール兵庫大会(中学校の部)で、青溪中学校3年の池田晴香さんの感想文が、最優秀賞にあたる兵庫県知事賞を受賞しました。

池田さんの感想文は、早瀬久美さんの「心の耳」という著書についてのもので、審査評では「感情



県知事賞を受賞した池田晴香さん

移入が簡潔に表現され、読書の深まりが感じられる」と評されました。

池田さんは「これからもたくさん種類の本を読んで、心の豊かな人になりたいです」と話してくれました。

受賞おめでとうございます。